

nómi

能美^{〔のみ〕}市議会だより

vol.
83

2024.5.1



PICK UP

- 01 人権擁護委員との意見交換会を開催 p.2
- 02 当初予算を審査！3月定例会報告 p.4
- 03 能美市議会で初の議員間討議を実施 p.6
- 04 11人が登壇！代表質問・一般質問 p.9

根上総合文化会館裏の広場で遊ぶ
大成保育園の園児たち

人権擁護委員と能美市議会との
意見交換会



令和6年1月26日(金) 能美市役所 協議会室・委員会室にて

人権擁護委員との
意見交換会

「議員こそ“人権”について
詳しく知っていないと
いけない！」

今こそ、「人権」を考えよう。

市民全体の福祉の向上を
考える中で、「人権」は全ての
市民にとって大切なもの。

一方で、様々な場面で人権
問題が生じているのが現状
ではないでしょうか。

そこで、議員としてあらた
めて人権の問題意識を持つ
ために、人権擁護委員との意
見交換会を開催しました。

——人権擁護委員として、普
段どのような活動をしてい
ますか？

中村 主に、地域の皆さんか
ら人権相談を受けて、問題解
決のお手伝いをしたり、人権
について関心を持ってもら
うための啓発活動を行っ
たりしています。保育園での
人形劇や小中学校でのスマ
ホ安全教室、中学校人権作文
コンテストの審査なども大
事な活動です。

——相談の受付状況はどの
ような感じですか？

元山 相談件数は必ずしも
多くないですが、能美市は他
の相談機関が充実している
ので、そういったところに相
談に行つて、解決している場
合もあるのではないかと。

竹本 ただ、自分が差別や不
当な対応を受けているとい
う自覚が無くて相談に來ら
れない人もいます。まず
は皆さんに人権意識を持
ってもらうことが必要だと
思っています。

——そういった意味で、委員
の皆さんが担う役割や活動
は非常に重要ですが、お話を
伺うなかで活動の予算面の
ことが気になりますね。

中村 予算の都合で保育園
での人形劇が全園で出来ず、
半分は紙芝居で対応してい
ます。やはり人形劇の方が

【部会長】



なかむら つかさ
中村 司 さん

6年目



たけもと しづこ
竹本 志津子 さん

12年目



あさくら ひろき
朝倉 裕樹 さん

5年目



はやし ひろし
林 拓 さん

1年目



まきばやし かずみ
牧林 和美 さん

6年目



むらもと じゅんこ
村本 淳子 さん

5年目



ささき ちはる
佐々木 千春 さん

1年目



もとやま ひろし
元山 洋 さん

14年目

今回ご参加いただいた皆さん
小松人権擁護委員協議会 能美部会

委員12名のうち8名にご参加いただきました！

※役職や経験年数は令和6年1月26日時点のものです



人権擁護委員との意見交換会は今回が初めて



議会側は広報広聴特別委員会のメンバー6名が参加



子どもたちの反応が良いので、全園で出来たらなと。

朝倉 自分たちの見聞や知識を深めるための管外視察を年に1回行っているんですが、市からの予算が限られていると視察先を選ぶのが厳しいと感じています。

——委員のなり手不足も課題になっているとお聞きしましたが。

村本 実際に活動してみると、すごく大変だなと痛感しています。会議があると時間も取られるので、次は誰にお願いしたらよいか…。

林 思っていた以上に忙しいので、普段働いている60歳以下の方が委員になるのはとても無理でしょうね。若い世代に引き継いでいくのも難しいと思います。

——報酬が無いのも大きな要因ですね。それでも続けているところについては、やはり何か「やりがい」があるところでしょうか？



人権に関するパンフレット

佐々木 日頃、子どもたちと関わってきた経験を活かして、立場の弱い方々のためになるんだったら…という思いでいます。

元山 普段の活動や研修を通じて人権に対する考えが深まるので、それは自分のためになっていますね。

牧林 相談に来られた方と一緒に気持ちや立場になって考えることで、自分のためにもなることがあるかなと思っ続けています。

——人や自分のためになっているから、大変でも続けられていますか？

れるということですね。最後に、議会に対するご意見や要望などはありますか？

竹本 議員の方々は市民の代表なので、議員こそ人権について詳しくないといけないと思っっています。それから、例えば企業など一般の方々にも啓発活動をしたいと思っっているんですが、企業とのつながりが私たちには無いので、橋渡しをしてもらえるといいと思います。市役所職員を対象とした啓発活動から始めてみるのも良いかもしれませんね。

朝倉 外国人の方々の人権も平等に尊重していかねければいけないんですが、言葉の壁が大きいと感じています。取り残されることがないようなフォロー体制の整備が必要だと思っっています。

——いただいたご意見は、今後の議会活動に活かしていきます。ありがとうございました！

YouTubeでも配信中 !!



意見交換会を終えて

いじめや介護、性加害、LGBTQ など様々な人権問題が顕在化している現代において、これほどまでに「人権」が注目されている時はない。議会としても、人権への考えを今一度見つめ直し、課題解決に向けた方策を考えていきたい。



当日の様様や参加者へのインタビューが視聴できます。ぜひご覧ください！
「能美市議会 YouTube」で検索！

令和6年度は

GX・DX推進に注力！

令和6年3月定例会が2月27日から3月21日まで(24日間)開催され、審査の結果、議案52件を可決・承認しました。

今回の当初予算では、「移住定住の促進」を掲げて、事業・施策の7本柱に基づき、防災減災対策や市民力・地域力の強化、ふるさと愛の醸成、知名度・認知度の向上、GX・DXの推進などの取り組みを進める予算が計上されました。

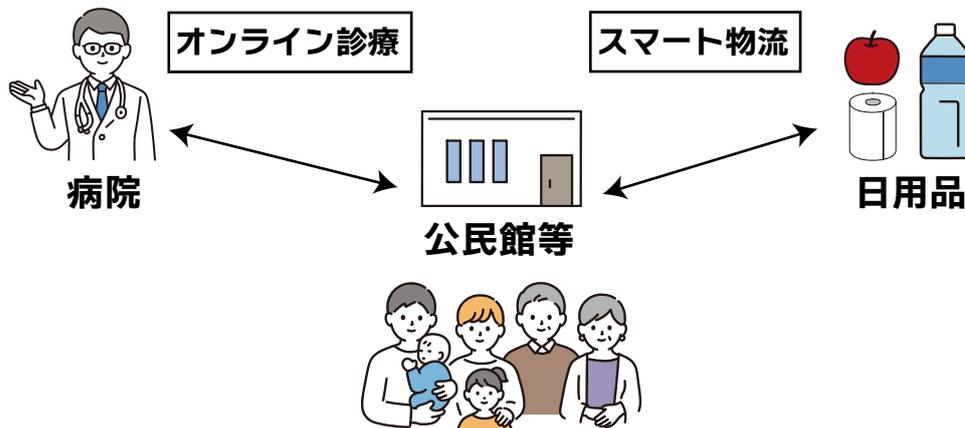
ここでは、その主な内容をピックアップして紹介します。

当初予算の詳細は
市ホームページから →



スマートインクルーシブ シティを推進

予算額 3億2,640万円



デジタル公民館で暮らしをサポート

Q スマートインクルーシブシティ 推進事業の内容を問う

A 買い物支援や共同配送、ライドシェアサービスなどの連携による人流・物流の最適化や、地域通貨・ポイントサービス等による地域活性化に取り組む。また、デジタル公民館等を活用したサービスを提供することにより、誰もが安心して住み続けられるスマートなまちづくりを目指す。

Q 「スマート物流」と「オンライン 診療」を実施するに至った経緯は

A 能美市の課題として車がないと移動が困難というものがあり、これを解決するために移動が少なくて済むように近くの公民館で生活物資の受け取りや診療ができるようになる「スマート物流」と「オンライン診療」の2つの事業を実施することとなった。

DX (デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術を社会に浸透させて、人々の生活をより良いものへと変革すること。

GX (グリーントランスフォーメーション)

産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革させること。

※金額は1万円未満を切り上げて表示

ゼロカーボンシティ & スマートインクルーシブシティを目指して

耐震改修にかかる補助金額上限UP

予算額 1,484 万円



耐震改修工事(筋交いの設置)

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事に対する費用を補助します。

Q 工事内容に制限を設けないとは具体的にどういうことか

A 補助対象となる工種の限定や条件付きの加算、補助率を設けた制限付きの上乗せ補助ではなく、耐震改修工事にかかる費用の全てを補助対象として、その上限を 150 万円から 200 万円に引き上げるものである。

生ごみ処理機・コンポスト購入に補助

予算額 159 万円

家庭から排出される可燃ごみの約 40% を占める生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機及びコンポストの購入費を一部補助します。

Q 生ごみ処理機とコンポストの補助金は一度廃止になっているが、復活させるにあたって工夫はあるのか

A ゼロカーボンチャレンジ NOMI の事業の中でポイント加算の対象とすることなどで普及促進に取り組んでいく。

議員からの意見

コンポストはなかなか普及が進まないことから、様々な工夫によって普及促進を図っていくべき。



生ごみ処理機

水田を利用した流域治水対策を図る

予算額 932 万円



大雨の際に、田んぼを利用して治水を行う「田んぼダム」の推進を図るための実証実験を行います。

Q どのように雨水対策につながるのか

A 田んぼを調整池のように機能させることによって、時間をかけて雨水を農業排水に流し、すぐに下流に水が流れないようにするものである。今回は実験的に一部の地域で行うものだが、ゆくゆくは能美市全体でこの事業を進めていきたい。

能美市議会として初の 議員間討議 を実施

能美市介護保険条例の一部を改正する条例について

この度の条例改正は介護保険法施行規則等の改正に伴うものですが、この改正内容に対し、低所得者の介護保険料のさらなる引き下げを行うよう、3つの論点で議員間討議が行われました。

論点① 調整交付金を5%にすること

意見

- ・調整交付金の差額分を被保険者が負担するのではなく、国が責任をもって行うべきと考える。
- ・調整交付金は全国平均で国が5%を負担しているが、能美市が3%負担であることは受け止めなければならない。
- ・調整交付金の差額分を被保険者に転嫁しているものではないことを理解しなければならない。

論点② 基金の繰り入れを行うこと

意見

- ・基金は介護保険料の激変緩和に対応するために積み立てているものであり、基金が無くなった場合は被保険者の負担が増えることになりかねない。
- ・今後、高齢者が増えて介護保険利用者も増えていくことは間違いないので、基金は残しておくべきだ。

論点③ 一般会計から繰り入れを行うこと

意見

- ・3～4年前から介護保険料の引き下げに国も県も市も公費の繰り入れを行っており、自治体の判断で繰り入れができないことはない。
- ・国の方針として、一般会計からの繰り入れは禁止していないが、経営を赤字化させないためにも推奨はしていない。

まとめ

議員間討議の結果、以下の合意形成に至りました。

- ✓ 高齢化社会が今後ますます進展していく中で持続可能な経営を行うためにも、基金はある程度残しておく必要があると考える。
- ✓ 現行の介護保険制度に改善の余地があることから、国に対して、調整交付金措置を別枠として求めるなどの要望を能美市議会として取りまとめ、意見書として提出する方向性が考えられるのではないかと。

このほかに、予算決算常任委員会においてスマートインクルーシブシティ推進事業についても議員間討議が行われました。

私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

能美市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について

反対

近藤 啓子 議員（日本共産党）
不備が改善されていない
個人情報管理の不備が改善されずに、さらなる利用拡大を進めることには賛成できない。

賛成

山本 悟 議員（流和のみ）
外国人生活保護受給者のために
生活保護の医療扶助において、外国人でもマイナンバーカードを利用して受診できるようにするために必要な改正である。

能美市介護保険条例の一部を改正する条例について

反対

近藤 啓子 議員（日本共産党）
公的財源支援で保険料引き下げを
保険料引き下げの財源を第1号保険者に求めることは賛成できない。公的財源支援による保険料引き下げを求める。

賛成

中村 純子 議員（能美保守の会）
現時点では最善の方法である
現在の介護保険制度では、これが最善の方法であり、基金の取り崩しについても、計画的なものである。

令和6年度能美市一般会計予算について

反対

近藤 啓子 議員（日本共産党）
安全性や必要性の再検討が必要
デジタル技術の活用によって福祉の向上を図ることは重要だが、事業の安全性や必要性などを今一度、冷静に検討すべき。

賛成

中村 純子 議員（能美保守の会）
地域共生社会の実現に必要な予算
持続可能な地域共生社会を実現するため、デジタル技術を活用した取り組みを加速させるものである。

意見書4件を全会一致で可決

① 令和6年能登半島地震の災害復興支援を求める意見書

新たな補助制度の創設や補助率（雇用調整助成金・被災者生活再建支援制度）のかさ上げなどの財政措置及び地方負担分を極小化するための特別交付税の別枠措置、人的支援の強化、仕事・雇用の確保などを行うこと。

② 保育士等の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書

保育士等の配置基準の見直しを行うとともに、民間給与動向等を踏まえた保育士等の賃金水準の引き上げを行うなど、さらなる処遇改善について、早急かつ着実に取り組むこと。

③ 学校給食費の無償化制度の構築を求める意見書

全国一律で学校給食費の無償化を実現させるため、財源の確保や学校給食法の改正を含め、必要な制度を構築すること。

④ 災害救助法における福祉の位置づけの明確化を求める意見書

災害救助法第4条第1項に「福祉サービス（介護を含む。）の提供」を規定し、災害時における要配慮者への福祉支援が、災害救助の一つであることを明確化すること。
同法第7条第1項の「救助に関する業務に従事させることができる」者として「福祉（介護）関係者」を明記し、必要な経費について、災害救助費からの支出を可能にすること。

3月定例会 議決結果と議員の賛否



全議案の議決結果は市ホームページで公開しています

議案52件のうち 賛否が分かれた議案	議決結果	荒井 昌宏	中村 純子	澤田 貞	今尾 晃司	山下 毅	卯野 修三	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中大佐久	田中策次郎	南山 修一	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一	
能美市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について マイナンバーカードを用いたオンライン資格確認に対応するために改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決を行いません	○	○	○	×	○	
能美市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
能美市介護保険条例の一部を改正する条例について 介護保険料の負担割合を調整するために改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
能美市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
能美市指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
能美市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
令和6年度能美市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
令和6年度能美市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
令和6年度能美市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
令和5年度能美市一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○
議決結果	全議案可決・承認	市長提出 … 46件 議員提出 … 6件															

● 能美保守の会 ● 流和のみ ● 絆 ● 公明党 ● 清風 ● 日本共産党

オンライン委員会を実施できる体制に

今定例会で「能美市議会委員会条例」と「能美市議会会議規則」を改正し、オンライン委員会を実施できる体制を整備しました。

✓ オンライン委員会とは

オンライン会議システムなど映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話できる方法によって開催する委員会のこと。

✓ 実施の目的・効果

オンラインでも出席できる環境を整備することで、会議室への参集が難しいような状況でも必要に応じて委員が出席できるようになります。

また、会社員や子育て中の人でも市議会議員になりやすくなり、議員の多様性の確保や議員のなり手不足の解消にも効果があると考えています。

代表質問

能美保守の会

・令和6年度予算編成における取り組みについて

令和6年度予算編成への思いを問う

答弁

全庁挙げて機動力を持ち推進する

Q 能登半島地震の発生を踏まえた防災対策を問う

A 地震対策では、被災者の安全な避難・救助を第一に、被災状況の把握、交通網の確保、ライフラインの応急復旧に取り組むこととしている。

津波対策では、防災行政無線により避難を呼びかけている。また、被災状況の把握や自主避難所の開設を行い、その旨を市ホームページなどで周知している。今後、津波避難に係る情報伝達の強化を図るため、海岸部の滞在者への周知に特化した防災行政無線を整備する。

災害に強いまちづくりとして、住宅の耐震改修の補助を増額するほか、デジタルハザードマップの導入、老朽化対策として橋梁や道路舗装の改修、上下



東 正幸 市長



▲甚大な被害をもたらした能登半島地震

Q 能美市誕生20周年に向けた取り組みを問う

水道の耐震化、雨水対策に係る流域治水対策等を進め、さらなる災害対応力の向上に努める。

A 町会・町内会活動への補助金を交付し、市民が地域行事に参加しやすい環境づくりを後押しする。また、能登半島地震による被害に対する復旧・復興経費も補助対象として支援する。令和7年2月には記念式典を開催し、3月には能美の歴史を写真等で取りまとめた図説編の刊行を予定している。

Q デジタル技術を活用した取り組みを問う

デジタル技術を活用した取り組みを問う



▲誕生20周年を迎える能美市

A スマートインクルーシブシティ構想に関して、新年度は多くの医療機関に共通電子カルテの導入を促進することで、効果的・効率的な医療サービスを提供する。

また、公民館を拠点にしたサービスとして、マイナンバーカードを活用した避難所チケットインシステムの導入や、オンライン診療の着手、買い物支援としての物資配送の仕組みを構築する。

加えて、ライドシェアサービスの実装、デジタル地域通貨を導入し、地域内経済循環の実現を目指す。

こんな質問も

- ・北陸新幹線県内全線開業
- ・環境問題対策



市長の施政方針や予算編成方針を問う！

代表質問

流和のみ

- ・「こども・子育て支援」の強化について
- ・災害前提の市政運営について

こども・子育て政策の強化を

答弁

子育ての喜びを実感できるまちを目指す

Q 令和6年度当初予算における「こども・子育て」の重要な事業・施策を問う

A 「安心して子どもを産み育て、子育ての喜びを実感できるまちづくり」の実現に向け、次の取り組みを進める。健康推進課に助産師を配置し、妊産婦が悩みをいつでも相談できる体制を整えている。また、子育てDXの推進として、子育てアプリ「はぐはぐ」を活用し、問診や診察を手厚く実施する。

小中学校においては、特別支援学級の児童生徒の人数が年々増加していることから、支援員2名を増員するほか、中学校に校内ふれあい教室の新設や学校指導員の配置、学校給食費の無償化を新年度も継続する。

ハード面では、健康福祉セン

今尾 晃司 議員



Q 住民の避難誘導について今後の方針を問う

ター「サンテ」に児童福祉の相談と教育相談の専門職を集約し、子どもに係るワンストップの総合相談窓口を設置するほか、湯野保育園・緑が丘保育園の民営化など、安心してママになれるまちに向け、施策の強化を推進する。

A 津波警報の発表などで、多くの避難所が必要となる場合を想定し、地域住民が自主的に開設する地域避難施設の制度活用も視野に、幅広く避難所設置を検討していく。

Q 住宅耐震化をどのように促進していく考えか

A 耐震改修工事への補助金を県内トップクラスの200万円に引き上げ、工事内容を制限せず、使いやすい補助金にすることなどで、耐震化の促進に取り組んでいく。



▲安心してママになれるまち能美市

こんな質問も

- ・災害発生時のホームページ
- ・危機管理体制



▲災害に強いまちづくりの推進を

Q 主要な道路と上下水道の予防保全を問う

A 老朽化している主要な道路の改修に全力で取り組んでいる。上水道管については、基幹管路の耐震化を優先し計画的に整備を進める。下水道は、重要幹線内のマンホールの耐震化を計画的に進める。



一般質問

市のさまざまな施策や課題等について、議員が自身の提案も含めて市の考えを聞くのが一般質問。3月定例会で出された「66」の質問から、厳選した内容をダイジェストで紹介します。

防災減災対策

上水道・下水道の耐震化	p.12
災害を教訓に	p.13
公共施設での避難訓練	p.14
津波避難施設の新設	p.14
個別避難計画	p.15

安全安心のまちづくり

AEDの屋外設置	p.12
辰口中央小の通学安全対策	p.15

その他

避難者への支援	p.13
---------	------

インクルーシブ構想

デジタル地域通貨	p.11
----------	------

9名が登壇

詳しい内容は
こちらから



※3月定例会の会議録は
6月上旬に公開予定です

本紙掲載以外の質問については、各議員のページに設置しているQRコードからYouTubeでご覧いただけます。

デジタル地域通貨の導入はいつか

答弁
令和6年度の秋頃を目途に導入する

Q 地域経済循環を踏まえ、検討が進められているデジタル地域通貨の具体的な内容と開始時期を問う

A 能美市が導入を予定しているのは、地域金融機関が発行主体となり、県が県下全域で普及を進めようとしているデジタル地域通貨で、マイナンバーカードによる本人確認・認証機能と連携し、スマートフォンでチャージや市内商店での決済が可能となる。

また、市民の健康づくりエコ活動などに対して地域ポイントを付与し、ゼロカーボンシティに向けた行動変容などにも結びつけるほか、将来的には購買データを活用した商業振興施策の立案などにより地域経済循環を高め、地域経済の活性化につ

なげていきたい。

今後、市商工会・のみ商業協同組合・地域金融機関との連携により、さらに魅力的な地域通貨の具現化を進め、多くの市内事業者の参加や市民への周知広報に努め、令和6年度秋頃を目途に実装・運用する予定である。

卯野 修三 議員
ののしゅうさう



こんな質問も

- 能美市制20周年事業
- 集落案内板



▲デジタル地域通貨のイメージ

AEDを公共施設の屋外にも設置せよ

答弁

健康福祉センター「サンテ」に設置した

山^{やました}下^{つよし} 毅^{つよし} 議員
能美保守の会



Q 昨年の救急出動件数と現場到着所要時間を問う

A 救急出動件数は2188件、119番通報から現場到着までの平均所要時間は約6・6分で、令和4年と比較して約0・5分短縮した。

Q 市民や企業向けAED普及講習の実績を問う

A 令和3年度は37回、令和4年度は43回、令和5年度は2月末現在で53回実施している。また、応急手当WEB講習を令和3年4月から実施している。

Q AEDを市内公共施設の屋外にも設置するとともに、コンビニエンスストアへのAED設置協力を進めよ

A 健康福祉センター「サンテ」の屋外にAED収納ボックスを設置し、閉館時でも使用が可能となった。コンビニエンスストアへの設置については、国のガイドラインと照らし合わせ、消防本部と連携し、検討する。



▲サンテ屋外に設置されたAED収納ボックス

こんな質問も

・AEDの設置状況



上水道・下水道の耐震化を

答弁

目標とする耐震化率の達成に努める

中^{なかむら}村^{じゅんこ}純子^{じゅんこ} 議員
能美保守の会



Q 上水道管の総延長とその耐震適合率、また、そのうち、重要な管である基幹管路の延長と耐震適合率を問う

A 総延長は約440kmで、耐震適合率は8・2%。また、基幹管路は延長約22km、耐震適合率は43・1%である。

Q 上水道管路の耐震適合性について、整備目標と整備計画を問う

A 令和10年度に60%と設定し、毎年0・8km程度の整備を進める。

Q 重要幹線とされる道路内マンホールの数と耐震化率、また、下水道マンホールの耐震化の整備目標と整備計画を問う

A 重要幹線にあるマンホールは379か所で、耐震化率は42・7%である。整備目標については、令和11年度に耐震化率60%と設定し、重要幹線にあるマンホールの耐震化を優先して、毎年10か所程度整備を進める。



▲マンホール周辺が沈下し、下水道管に被害

こんな質問も

・根上地区の赤水
・水道事業戦略
・備蓄計画見直し



豪雨災害と能登半島 地震を教訓にせよ



澤田 貞 議員
清風

答弁
市全体の災害対応力を
強化する

Q 行政と地域住民との危機
管理ギャップ解消を問う

A 市と地域住民の双方によ
って防災力を高める取り
組みを推進し、市全体の災害対
応力の強化につなげていく。

Q 個人宅で避難者を受け入
れている世帯への支援は

A 国や県への負担軽減の要
望を検討しており、生活
必需品も適宜支給している。

Q 耐震改修促進事業の補助
金引き上げによる耐震化
率上昇と建物の安全強化の見通
しを問う

A 住宅の耐震化促進には、
耐震改修工事への補助が
有効な手段と考え、上限を20
0万円に引き上げるとともに、

耐震化の重要性や補助制度の周
知に努め、耐震化を促進する。

Q 治水対策と地震時の上下
水道への備えは万全か

A 宮竹用水の事前停水や調
整池の整備、上下水道の
耐震化などで被害軽減を図る。



▲被災した屋根瓦の応急対応（佐野町地内）

こんな
質問も

- ・自主防災組織
- ・地区防災計画
- ・防災士の取得



避難者への支援の 状況を問う



答弁
避難者に寄り添った
支援に努めている

Q 市内における避難所の規
模や開設期間を問う

A 2次避難所となっている
旅館及びホテル5つの施
設の受入可能規模は約60室、最
大で約130名と想定してお
り、広域避難所である辰口福祉
会館の受入可能人数は165名
と想定している。2次避難所と
なっている施設の責任者から
は、可能な限り受け入れに協力
したいとのご意向をお聞きして
いる。

Q 市内における賃貸型応急
住宅や公営住宅への避難
者数を問う

A 3月8日までに、賃貸型
応急住宅に29世帯66名、
公営住宅に12世帯19名が避難さ
れている。

Q 能美市に移住を希望する
避難者への仕事の支援が
できないか

A 避難者が安心して生活で
きるよう、国・県の労働
部局や市の商工会、社会福祉協
議会等と連携しながら全力で支
援していく。



▲辰口福祉会館へ避難した方たち



公共施設での避難訓練の実施を

答弁
有事に備え実施する必要がある



田中 策次郎 議員

絆

Q 避難所運営のリーダー学習と、避難体験で学ぶ訓練が必要と考える。災害時に避難所となる体育館や公共施設での避難訓練を実施できないか

A 避難環境の向上に貢献できる国の人材育成制度を活用し、まずは地域の防災リーダーのさらなるステップアップを図っていく。

避難生活の各場面を想定して厳しい環境下における避難所生活の追体験をすることにより、適切な対処方法を学ぶことができ、多くの気づきと防災意識の向上に効果がある。このことが、高齢者や障害者をはじめとした多様な被災者が生活する避難所において、一人ひとりに寄り添った質の高い支援が可能になるものと考えている。

今回の能登半島地震で、多くの方々の避難生活の状況を見るに、地震対策における訓練は必要と考える。今できること、身近に何ができるかを職員とともに考え、また地域の方々とも相談し対処していく。



▲令和6年能登半島地震での指定避難所

津波避難施設の新設を行え

答弁
検証結果をもとに適切に対処する



仙台 謙三 議員

公明党

Q 令和6年能登半島地震を踏まえ、津波避難ビル・タワーの新設や津波避難場所を追加する計画について、市の見解を問う

A この度の能登半島地震により津波浸水想定区域図に修正が生じないのかを県に確認し、学識者の協力も得ながら、津波想定の正しい理解と適切な避難対策を講じる。

新たな津波避難ビルやタワーの設置、津波避難場所の追加についても、津波想定の見直し結果をもとに適切に対処する。

Q 避難所において、避難者に対して避難所運営などのサポートを依頼してはどうか

A 避難者は、市の職員では気づかないことや経験不

足を補ってもらえる大きな存在であり、避難所の立ち上げから運営に至るまで地域の連携と協力は欠かせない。
地域住民とともに安心な時間を過ごせる避難所のあり方を探り、実践に取り組んでいく。



▲根上南部保育園敷地内の津波避難タワー

こんな質問も

- ・給食食材の発注
- ・スケボー支援
- ・市内観光の支援



こんな質問も

- ・地域防災計画及び業務継続計画
- ・液状化対策



辰口中中央小学校の 通学安全対策は

答弁
早急に混雑緩和に
向けて取り組む



きたむら
しろうじ
北村 周士 議員
能美保守の会

Q 辰口中中央小学校正門前の
整備方針を問う

A 学校玄関前の坂道は車両
通路と歩道が一体となっ
ていることから、これを分離す
るため、令和6年度中に用地を
取得した上で測量及び実施設計
を行い、令和7年度に工事を実
施して、安全・安心な通学路と
したい。

Q 辰口中中央小学校の駐車場
を拡張せよ

A 児童の登下校時には送迎
車両が路上に駐車すること
という状況が発生していること
を認識しており、安全・安心に
送迎できる環境整備が必要であ
る。駐車スペースの拡張も含め
て早急に混雑緩和に向けて取り
組んでいく。

Q 震災を受けて学校の施設
管理を今後どうするか

A 学校施設の鍵を校区内の
複数の市職員等で管理
し、避難が必要な災害時等に速
やかに対応できる体制を整え
る。



▲安全性が懸念されていた中央小学校正門前

こんな
質問も

・北陸DOCを
見据えた観光施策



活用できる個別避難 計画を作れ

答弁
関係者も交えて
実効性のある計画に



こんどう
けいこ
近藤 啓子 議員
日本共産党

Q 災害時の要支援者への個
別避難計画は、専門職と
ともに、地域の人の声も入れ、
活用できる支援計画にすべきで
ないか

A 令和7年度末までに優先
度が高い土砂災害等リス
クの地域に住む要支援者約60
0人の個別避難計画を作成する
こととしている。町会・町内会、
民生委員などの関係者も交え
て、実効性のある計画となるよ
う取り組みを進める。

Q 避難所におけるトイレ問
題や性暴力、プライバシー
の保護にどう取り組むのか

A 女性の視点を取り入れな
がら、間仕切りの活用や
部屋割りの工夫などによりプラ
イバシーの保護に努め、犯罪を

招かない環境整備に配慮する。

Q 指定避難所だけでは足り
ないのではないか

A 地域避難施設の制度によ
り、公民館や企業の建物
も避難所として活用する。



▲避難所への巡回相談

こんな
質問も

・後期高齢者医療
能美根上駅ホーム
の隙間



能美のお人柄

能美市で活躍している方々を紹介するコーナー

#5

色んな人たちと一緒に
みんなで能美市も九谷焼も
盛り上げていきたいです。

今回は、海外での生活を経て、能美市に戻ってから九谷焼作家の父・福島武山氏に師事し、現在、自身も作家として活躍中の福島さんをインタビューしました。



福島 礼子 さん 九谷焼赤絵細描作家

九谷焼に携わることになったきっかけを教えてください

海外生活の中で、九谷焼のことを話題にする周りの評判が良かったのが印象的で、また習い事を通じて手先を動かすことが好きなことにも気がきました。能美市に戻ってから、父の手伝いができればという思いもあり、九谷焼を始めました。

九谷焼のアクセサリなど新しい取り組みもされていますよね

九谷焼をより身近に感じてもらえたら嬉しいなと思って取り組んでいます。たまに若手作家が集まって女子会のように盛り上がりながら、タイムリーなアイデアを出し合ったりも**能美市で九谷焼作家として活動する中で感じていることや思いは**若手の作家がなかなか能美市に定住しないの

が勿体ないと感じています。九谷焼に関する補助制度も色々ありますが、もう少し行政の支援があったらいいのかなと。また私自身としても、色んな人たちとのつながりを深めて、みんなで能美市や九谷焼を盛り上げていきたいと思っています。

移住アンバサダーにも委嘱されていますが、どのような活動をされていますか

九谷焼の展示会などで県外に行く機会があるので、その時に能美市のパンフレットを持って行って、お客さんや陶芸に携わる方々に市の魅力を伝えていきます。**これからの能美市に期待すること**お客さんが工房を訪ねてくることもあるので、交通アクセスがもっと良くなったらいいなと思います。飲食店も増えてほしいですね！

編集後記

1月1日発生の令和6年能登半島地震は能美市においても震度5強とかつて経験したことのない震度で、今も怖さが残っています。同時に、日頃からの備えと訓練の大切さを学びました。被災された皆さまが1日も早く元の生活に戻れますようお願いしています。

市議会だよりのリニューアルから1年。引き続き、紙面に市民皆さまの顔や声が載り、より親しみやすい議会だよりのなるよう努力していきます。
(近藤 啓子)

広報広聴特別委員会

【委員長】 今尾 晃司
【副委員長】 近藤 啓子
【委員】 北村 周士 澤田 貞
中村 純子 荒井 昌宏



能美市議会公式 YouTube チャンネル
本会議のライブ・録画映像などを配信中！



マチイロ
電子版も読めます！

